

富山高専専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	歴史学 I	
科目基礎情報							
科目番号	0052			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	電気制御システム工学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	前期:2		
教科書/教材	特に指定しない。						
担当教員	横山 恭子						
到達目標							
・日本と東アジアの対外関係・国際交流の特徴を説明できる。 ・絵画史料（絵図・地図）を調査・分析し、説明できる。 ・歴史的事象と現代社会の国際問題とを結び付け、意見を持つことができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	各時代の日本と東アジアの対外関係・国際交流の特徴を具体的に説明できる。		日本と東アジアの対外関係・国際交流の特徴を説明できる。		日本と東アジアの対外関係・国際交流の特徴を説明できない。		
評価項目2	絵画史料（絵図・地図）を詳細に調査・分析し、説明できる。		絵画史料（絵図・地図）を調査・分析し、説明できる。		絵画史料（絵図・地図）について説明できない。		
評価項目3	歴史的事象と現代社会の国際問題とを結び付け、意欲的に自分なりの意見を持つことができる。		歴史的事象と現代社会の国際問題とを結び付け、意見を持つことができる。		歴史的事象と現代社会の国際問題とを結び付けることがでない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 B-6 JABEE 1(2)(a) ディプロマポリシー 3							
教育方法等							
概要	古代から前近代を中心とした東アジア交流概論。日本の対外関係を通史的に俯瞰しながら、中国、朝鮮半島などの東アジア諸国・諸地域との交流を通して、日本がどのように先進文化・技術を受容してきたか、それらをどのように成熟・発展させ産業化・国産化を進めてきたかを概観していく。各時代の日本の対外関係ならびに、東アジア諸国・諸地域との結びつきの特徴を理解・認識するとともに、将来国際的な技術者としてグローバルに活躍し、世界の人々と接する際に必要な知識・教養を豊かなものにする。						
授業の進め方・方法	講義形式で毎回資料を配布する。参考文献等は授業中に紹介する。時々作業プリントや授業の感想等の提出を求めることがある。						
注意点	授業の進度・内容は学生の理解度によって変更することがある。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス、東アジア華夷秩序と古代日本①		「華」と「夷」からなる東アジアの秩序と理論、中国歴史書の中の倭国について知識を得る。		
		2週	東アジア華夷秩序と古代日本②		渡来人の移住と漢字・儒教・仏教の伝来について知識を得る。		
		3週	東アジア華夷秩序と古代日本③		渡来人の特殊技術と古墳・寺院造営との関わりについて知識を得る。		
		4週	絵画史料を読み解く①		「麻疹絵」「疱瘡絵」を読み解き、内容や背景を説明できる。		
		5週	東アジアの戦乱と中世日本①		日宋貿易と渡来銭、国内経済への影響について知識を得る。		
		6週	東アジアの戦乱と中世日本②		蒙古襲来と火器の発達、国際社会の変容について知識を得る。		
		7週	東アジアの戦乱と中世日本③		東シナ海の偽使・倭寇、大航海時代の鉄砲伝来について知識を得る。		
		8週	近世日本の対外関係と四つの口①		「鎖国」と「海禁」、とキリスト教禁教の流れについて知識を得る。		
	2ndQ	9週	近世日本の対外関係と四つの口②		徳川幕府の外交政策、朝鮮・琉球使節訪日について知識を得る。		
		10週	絵画史料を読み解く②		朝鮮通信使絵巻を読み解き、行列図や成立背景について説明できる。		
		11週	近世日本の対外関係と四つの口③		蝦夷地開発と北前船交易、測量技術の発達について知識を得る。		
		12週	近世日本の対外関係と四つの口④		長崎貿易と蘭学の発達、語学習得について知識を得る。		
		13週	近代日本と国民国家システム①、レポート課題発表		産業革命の進展と黒船来航について知識を得る。		
		14週	近代日本と国民国家システム②		文明開化とお雇い外国人について知識を得る。		
		15週	近代日本と国民国家システム③		治水事業と交通・流通網の発達について知識を得る。		
		16週	まとめ、レポート提出、復習作業		日本と東アジアのつながりを振り返り、自分なりの意見を持つことができる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	提出物	レポート	合計
総合評価割合	0	0	0	10	0	10	80	100
基礎的能力	0	0	0	10	0	10	80	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0